

2025年11月19日
株式会社海外需要開拓支援機構

日本企業の長期的かつ持続的な成長と企業価値創造を支援する 「Japan Activation Capital Alpha I L.P.」への出資

- 海外需要開拓支援機構（「当機構」）は、“Excellence in Science”と“Best for Our Customers”の精神で社会課題を解決する株式会社島津製作所（「本件会社」）への投資及び企業価値向上の支援を行うため、本件会社への投資のためにジャパン・アクティベーション・キャピタル株式会社（「JAC」）が新たに組成・運用する「Japan Activation Capital Alpha I L.P.」（「本共同投資ビークル」）に対して出資し、JACが運用するJapan Activation Capital I L.P.及びII L.P.とともに、本件会社に対して他のJAC投資家との共同による出資を行うことを決定。当機構は、本共同投資ビークルに対して、54億円の出資を実行する。
- 当機構は、本出資により、JACが有する専門的な知見、経験、ネットワークを活用し、本件会社の企業価値向上を目指す取組を支援し、またその取組を通じて、本件会社の海外展開等による更なる成長を期待。

■ 出資決定

海外需要開拓支援機構（「当機構」）は、“Excellence in Science”と“Best for Our Customers”の精神で社会課題を解決する株式会社島津製作所（「本件会社」）への投資及び企業価値向上の支援を行うため、本件会社への投資のためにジャパン・アクティベーション・キャピタル株式会社（「JAC」）が新たに組成・運用する「Japan Activation Capital Alpha I L.P.」（「本共同投資ビークル」）に対して出資し、本件会社に対して他のJAC投資家との共同による出資を行うことを決定しました。当機構は、本共同投資ビークルに対して、54億円の出資を実行します。

■ 本共同投資ビークルの概要

本共同投資ビークルは、JACが運用するJapan Activation Capital I L.P.及びII L.P.※（総称して「メインファンド」）とともに、本件会社への投資及び支援を目的として、JACが新たに組成し運用するものです。なお、本共同投資ビークルには当機構以外にメインファンドに出資する複数の国内大手金融機関が参画しております。

※ 当機構は、Japan Activation Capital II L.P.にLP出資しています（2025年3月公表）。

■ 出資意義と狙い

当機構は、これまで支援の中心であった非上場企業のみならず、国内上場企業にも海外需要の獲得を通じて更なる成長が期待できる企業が存在すると考えております。上場企業への投資を通じた経営支援を実行するには特有の専門性が必要です。JAC は、多くの日本企業の成長を支えてきた多様なバックグラウンドの人材を有しています。

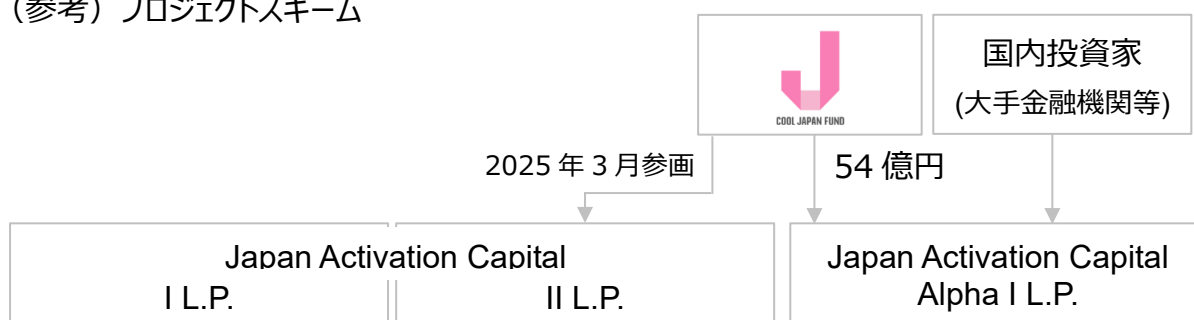
本件会社は、社是を「科学技術で社会に貢献する」、経営理念を「『人と地球の健康』への願いを実現する」とし、創業以来 150 年にわたり顧客と共創してきた技術で世界に誇る、日本を代表する企業です。近年は、海外展開を重要な成長領域と位置付けて取組を進めています。当機構は、本件会社の成長領域の一つとして、予防医療サービスに代表される日本で培われた技術に基づく製品・サービスの海外展開の拡大を期待し、支援を決定しました。

当機構は、JAC が有する専門的な知見、経験、ネットワークを活用し、本件会社の企業価値向上を目指す取組を支援し、またその取組を通じて、本件会社の海外展開等による更なる成長を期待しております。

ジャパン・アクティベーション・キャピタル株式会社について

設立 : 2023 年
所在地 : 東京都港区南青山 2-5-17
代表取締役 CEO : 大塚 博行
事業内容 : 投資運用業及び第二種金融商品取引業
ホームページ : <https://japanactivationcapital.com/>

(参考) プロジェクトスキーム



株式会社島津製作所への投資及び企業価値向上の支援

注： 2026年1月19日に、リリースに記載の内容を一部修正しました。

本資料についてのお問合せ先：

海外需要開拓支援機構（広報担当：橋本、岩田）TEL 03-6406-7500

ホームページ (<https://www.cj-fund.co.jp/>)